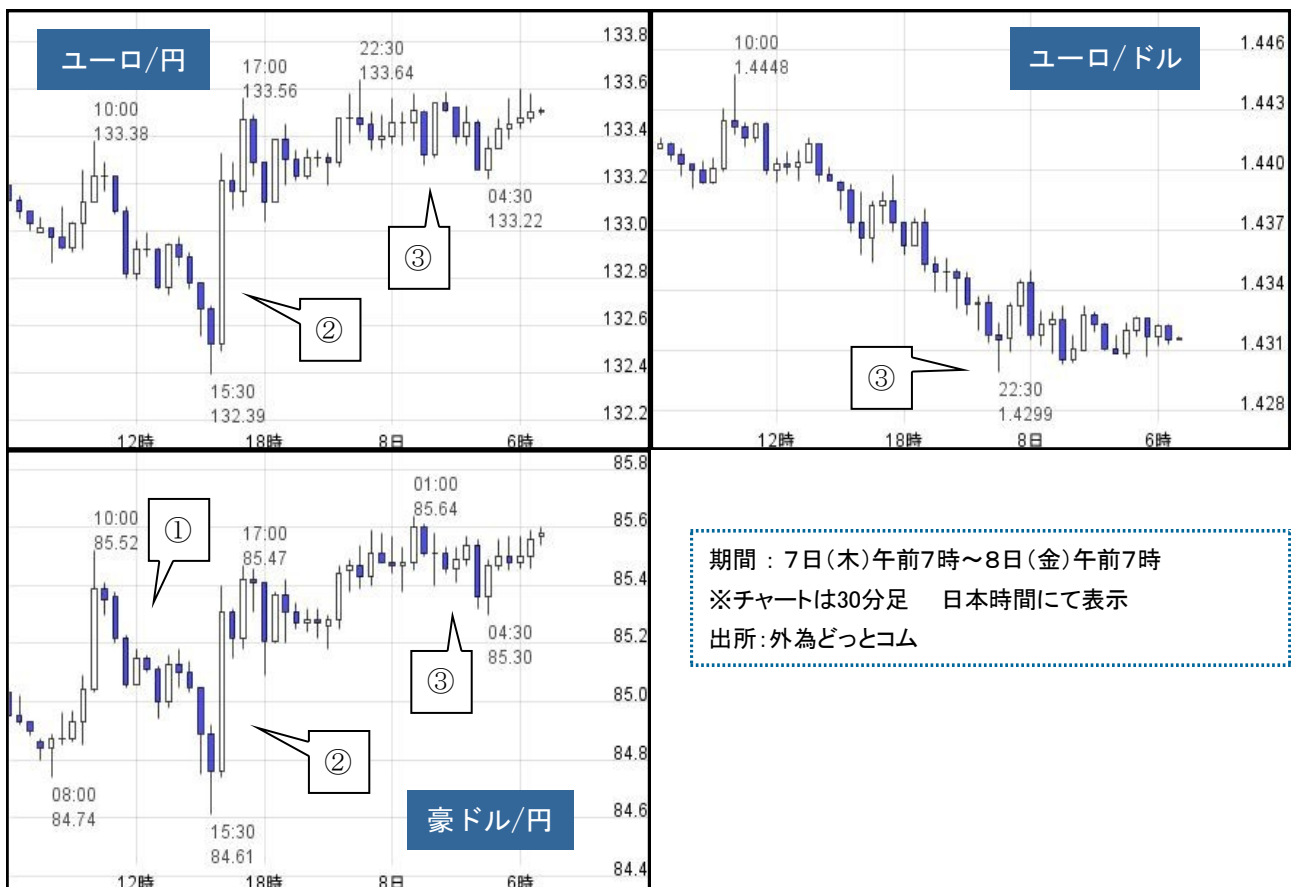


主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

1月8日(金曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

円売りムード盛り上がるなかで 迎える米雇用統計

7日(木)の主な推移



①

豪11月の小売売上高が前月比で予想を大きく上回る1.4%の伸びとなったことから、豪中銀による2月の利上げ観測が強まり、豪ドル/円は昨年来高値を更新して上昇した。しかし、その後、中国の手形入札金利の引き上げから流動性供給の引き締め観測が強まると、国際商品価格や上海総合株価指数が下落し、これを受けて豪ドル/円は84.61円の安値を付けた。

②

菅直人新財務相が就任会見で「もう少し円安が進めばよい」と発言したことで、ドル/円主導で円安が進むと、クロス円(ユーロ/円や豪ドル/円)も急上昇した。

③

国際商品価格の下落や全般的なドル買い圧力の強さから、ユーロ/ドルは一時1.43ドルを割り込んで下落した。また、NY時間でも引き続き菅財務相の「円安」発言が意識され、ドル/円で93円台まで円安・ドル高が進んだ影響からクロス円も堅調に推移した。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.4150-1.4480ドル
 ユーロ/円 : 131.80-134.80円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 84.30-87.00円

本日夜に米雇用統計を控えており、この結果によってはその後の相場展開が大きく変わる可能性もあるだけに、事前にドル絡みのポジションを取る動きは見送られがちであろう。その代わりに、菅財務相の「もう少し円安のほうがよい」発言を支えにドル以外の通貨に対しては円売りが継続されやすいのではないだろうか。

ユーロ/円では円安傾向での推移が予想され、ユーロ/ドルは大きな動きは出にくい、昨日のユーロ売り・ドル買いの反動から、雇用統計前にはユーロの買い戻しが出やすい地合いが予想される。

昨日の豪11月の小売売上高の大幅な伸びで、再び2月の利上げ観測が浮上する中、菅財務相の発言も手伝って、豪ドル/円は、本日(8日)早朝には一時86円台まで上昇している。今晚22時30分に米雇用統計を控えており、発表前に、さらに上値を追う展開は予想しづらいが、目先、利益確定以外には豪ドル/円の売り材料が見当たらないことから、底堅い推移が予想される。ただ、米雇用統計が予想を下回って悪化した場合、現状の投資家のポジションは大きく買い持ちに傾いていると思われることから、損失確定の売りオーダーを巻き込んで急落する可能性もあり、注意が必要であろう。

本日及び明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
1/8(金)	19:00	○	(ユーロ圏) 11月失業率	9.8%	9.9%
	20:00		(独) 11月鉱工業生産 [前月比]	-1.8%	+1.0%
	22:30	◎	(米) 12月失業率	10.0%	10.0%
		◎	(米) 12月非農業部門雇用者数	-1.1万人	±0人

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。